

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金の取組事例

事業概要

林業機械作業システム整備（高性能林業機械等の整備）

事業実施主体：有限会社増田住建（島根県）

成果目標：①素材生産量 現状値（H28～H30） 1,956m³
 目標値（R7） 3,200m³
 ②素材生産性 現状値（H28～H30） 3.01m³/人・日
 目標値（R7） 4.00m³/人・日

導入施設等：スイングヤード



（スイングヤード）



（集材現場）

ポイント

【取組概要】

急傾斜地、小面積皆伐地等の車両系作業システムに適さない現場へ対応するため、スイングヤードを導入。

【成功のポイント】

現場の条件を問わず効率的な集材が可能となったほか、機械導入と同時に一連の作業システムを再構築したことにより、生産性が向上した。

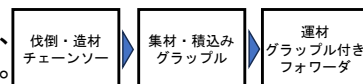
事業効果

【事業実施による効果】

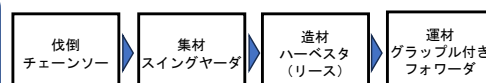
効率的な作業システムの構築により、素材生産量・素材生産性ともに増加。

素材生産量が214%増加
 （R4実績値6,141m³）
素材生産性が151%増加
 （R4実績値7.57m³/人・日）

■従来の作業システム



■新しい作業システム



集材から運材までの各工程に高性能林業機械を配備し、作業の効率化を実現した。

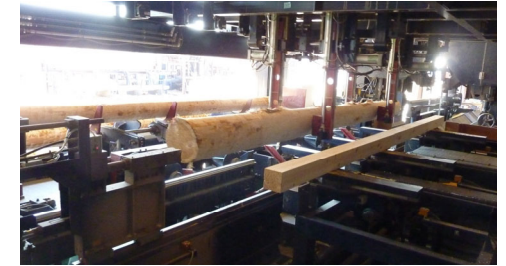
事業概要

木材加工流通施設整備（木材加工流通施設等の整備）

事業実施主体：有限会社マルハチ（栃木県）

成果目標：木材製品の生産量 現状値（H29-R1平均） 9,000m³
 目標値（R5） 12,000m³

導入施設等：ツインバンドソーライン 一式



（ノーマンツインバンドソー）

ポイント

【取組概要】

大径材（元口50cm）に対応可能な施設の導入により、最適な木取りを自動化し、構造材のほか羽柄材等も生産。

【成功のポイント】

製材機の加工能力と、乾燥機の容量、モルダの能力もこれと合わせて、ボトルネックが生じないよう効率的なライン配置とすることで、製材加工の生産効率が大幅に向上。

⇒原木1本当たり製材時間3分→1.5分に短縮

事業効果

【事業実施による効果】

2万m³/年（13人）→2万3千～4千m³/年（10人）と、原木取扱量の増大と省人化の両立

最適な木取りで可能となった、ヒノキ製品の多品目化等による販路拡大

【今後の展望】

ヒノキ製品の需要増大を見据え、製品ストック機能を高めていく。

地域材利用量が28%増加（R4実績値11,500m³）

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金の取組事例

事業概要

木造公共施設整備（木造公共建築物等の整備）

事業実施主体：曾於市（鹿児島県）

成果目標：①施設利用者数

現状値（R2）0人 目標値（R7）9,230人

②単位面積当たりの地域材利用量

現状値（R2）0m³/m² 目標値（R7）0.24m³/m²

整備施設：末吉中央公民館



（地域材をふんだんに利用した外壁）



（CLT現しを採用した会議室の壁）

ポイント

【取組概要】

木造軸組構法にCLTを組み合わせた工法を採用し、耐震性が高く、災害時は避難所にもなる地域コミュニティ施設の整備。

【成功のポイント】

市有林材を使用し、施設内の一部にはCLTが表面に見える「現し」工法を採用することで、当施設を利用する地域住民の方々に木造建築の良さを伝えられる施設となった。

事業効果

【事業実施による効果】

社会教育の拠点である当施設は、各種団体の地域活動、民間企業の研修、地域のイベントの開催等を通じて、木の良さや利用の意義を学ぶ取り組みを行うことで、木材利用の促進に寄与している。

施設利用者数（実績値：（R3）19,800人、（R4）18,723人）

単位面積当たりの地域材利用量（実績値：0.3m³/m²）

事業概要

木質バイオマス供給施設整備（木質バイオマス利用促進施設の整備）

事業実施主体：（有）前田産業（宮崎県）

成果目標：木質バイオマス利用量 現状値（R1）6,159m³

目標値（R7）24,241m³

導入施設等：チップパー、トラックスケール



（チップパーによる破砕）



（短尺材の活用）

ポイント

【取組概要】

新たにチップパー等を導入して木質チップ製造施設を整備し、木質バイオマス燃料の増産を図った。

【成功のポイント】

自社での集荷に加え、素材生産業者等4社と協定を締結したほか、短尺材も積極的に受け入れることで原料の安定的な入荷を実現した。

事業効果

【事業実施による効果】

利用率の低かった短尺材も積極的に集荷してチップ化することで資源の有効利用にも貢献しつつ、地域において需要が増加する発電用チップの供給体制の強化に貢献した。

木質バイオマス利用量が増加

（R4実績値50,239m³）